

熊本市公文書館整備基本計画（素案）に関するパブリックコメントの結果について

令和6年（2024年）6月
総務局行政管理部総務課

1 意見募集期間

令和6年（2024年）3月22日（金）～令和6年（2024年）4月22日（月）

2 ご意見の提出状況

ご意見を提出された方の人数 13名

ご意見の件数（まとめごと） 26件

3 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方 別紙記載のとおり
（内訳）

【対応1（補足修正）】

ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの 1件

【対応2（既記載）】

既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同
種の記載をしているもの 5件

【対応3（説明・理解）】

市としての考えを説明し、ご理解いただくもの 6件

【対応4（事業参考）】

素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事
として今後の参考とするもの 12件

【対応5（その他）】

素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの 2件

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

No.	項 目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
1	全体	熊本市の公文書館設置に向けた動きは称賛に値する。一県民として協力したい。	ご賛同いただき、ありがとうございます。	④事業参考
2	全体	過去に熊本で起きた地震に関する文書を読みたい。	平成28年熊本地震をはじめ、過去の地震についての記録も可能な限り公文書館で保存します。	④事業参考
3	全体	基本計画の説明文はわかりやすく簡潔にし、難しい言葉には解説をつけてほしい。	誰もが分かりやすく、なるべく簡潔な表現とするよう、心掛けます。なお、難解な用語には、素案(本文)で注釈を付しておりますので参照ください。	③説明・理解
4	全体	ジオラマ設置など、小中学生にも理解しやすい展示をしてほしい。	常設展示や企画展示において様々な展示を計画するとともに、公文書館の建物ジオラマ設置も検討したいと考えています。	④事業参考
5	全体	調べたいときに調べられるよう、しっかりと資料保存に努めてほしい。	資料の整理と保存に努めます。	②既記載
6	全体	公文書管理は、公の仕事の要中の要であり、仕事の仕方全般に影響を及ぼすため、世界的な民間企業を参考に、計画全般を見直したほうがよい。	御意見のとおり、公文書管理は現在と将来の住民への説明責任や行政の効率的な運営を行うに当たり重要であると考えます。今回の公文書館設置を一つの契機とし、研修等を通じて公文書に関する職員一人ひとりの意識改革を図っていきます。	③説明・理解
7	公文書館と中間書庫の役割	過去のテレビ番組の映像記録やラジオの音源も公文書館で保管してほしい。	テレビ番組の映像記録やラジオの音源をすべて保存することは困難ですが、特定歴史公文書等の基準に該当するものは公文書館で保管します。	③説明・理解
8	公文書館と中間書庫の役割	公文書を作成するすべての職員に対して、選別・収集等に関する意識を高める教育や研修が必要。また、歴史資料の保存・活用に情熱を持った職員を配置してほしい。	ご指摘を踏まえ、4.2.1公文書等の保存数量及び必要機能の検討に、専門知識を持つ職員の配置及び育成に努める旨を追記しました。公文書等の重要性やその管理方法の知識を深めるため、研修の充実を図り、職員の意識向上に努めます。	①補足修正
9	公文書館と中間書庫の役割	時機を見て、歴史資料所蔵家別目録作成事業を実施してほしい。	今後、関係機関と連携しながら研究していきます。	④事業参考
10	公文書館と中間書庫の役割	河内町役場文書も利用に供してほしい。	当該文書は熊本市指定文化財でもあるため、文化財として保存しながら、利活用の方法についても関係課とともに今後検討していきます。	④事業参考
11	公文書館と中間書庫の役割	資料の内容とともに、各資料のライフサイクルや保存期間を記載してほしい。	公文書の保管に当たっては、資料の内容や保管場所、保存期間等を明記して管理します。	③説明・理解
12	公文書館と中間書庫の役割	デジタルアーカイブの導入にあたっては、機器操作の研修を行うなどエラー防止対策を講じるとともに、データをリスクから守る措置を整えてほしい。	ご意見にあるように、人為的ミスを防止するための操作研修やデータをリスクから守るためのセキュリティ対策を講じてまいります。	④事業参考
13	公文書館と中間書庫の役割	作業体験できるなど、誰もが利用しやすい楽しい公文書館にしてほしい。	市民に親しまれるような公文書館運営の参考とさせていただきます。	④事業参考
14	公文書館と中間書庫の役割	熊本地震や6.26水害の展示を企画してほしい。	企画、展示の参考とさせていただきます。	④事業参考
15	公文書館と中間書庫の役割	歴史的な文書の保存・活用のさらなる検討が必要。歴史文書資料室のレファレンスのノウハウや各施設の調査方法など、人的、技術的な継承と発展を期待する。	ご指摘にあるようなレファレンスのノウハウ等を引き継ぐとともに、質の高い公文書館業務を目指し、より一層努力いたします。	④事業参考
16	施設整備計画	障害者でもアクセスしやすい環境、バリアフリー化の検討を。	ご意見のとおり、障がい者の方を含め、誰もが利用しやすい環境に配慮した施設を計画しております。	②既記載
17	施設整備計画	保存対象の文書の中に、議会関係資料や行政の決裁文書を含めるべき。	ご指摘の文書も保存対象としております。	②既記載
18	施設整備計画	太陽光発電設備の火災時に、貴重な資料を守るための消火及び給電システムの検討を。	ご指摘のような発電設備の火災対策も検討いたします。	④事業参考
19	施設整備計画	環境負荷抑制や維持管理費低減の試算及び比較を、従来電源と構築電源システムで行い開示してほしい。	ご提示内容とおりの比較を行う予定はありませんが、比較が可能な項目等について今後検討いたします。また、本施設はZEB Readyを目指しており、事業完了後に一次エネルギー消費量の削減率等の公表についても検討します。	④事業参考

No.	項 目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
20	施設整備計画	予定地は利用しづらく、市民の関心も薄れるのではないかと。熊本市の本庁舎近くなど行きやすい場所が望ましいが、難しいければ交通機関に配慮してほしい。	計画地は交通の便が良いとは言えませんが、デジタルアーカイブ等を活用し、直接来館しなくても資料を閲覧できるような環境整備とともに、継続的に関心をもっていただくための情報発信に努めています。	③説明・理解
21	施設整備計画	一部建替えよりすべて建替えた方がよい。敷地内での建物配置・敷地内動線・建物内動線・拡張性・施工性…あらゆる点で制約が発生し結果的に使いにくいものになるリスクがある。	ご意見のとおり、整備パターンを検討の中で、運用面においてもコスト面においても全面建て替えによる一体整備が最適であると考えております。	②既記載
22	施設整備計画	過度に土を盛らず、既存工場棟の地下階部分を利用した部屋割りを考えることはできるのではないかと。	地下階は湿度が常態的に高くなる傾向があり、文書を保存する用途に適さないため、地下階を利用しない計画としています。	②既記載
23	施設整備計画	新庁舎の地下を10階建てにし、公文書館をつくり保管するしかない。それまでは応急保管施設を建設したり、コンテナを利用して保管してはどうか。	地下階は湿度が常態的に高くなる傾向があり、文書を保存する用途に適さないため、地下階を利用しない計画としています。なお、建設予定地は収納量、リスク、コスト、市民利用、運用の観点から複数の施設を比較及び検討した結果、選定されたものです。	③説明・理解
24	施設整備計画	公文書館整備を歓迎しているが、一般開架・閲覧エリアを広くし、定期的に魅力ある展示を行ってほしい。個人用閲覧スペースの設置も検討を。	ご賛同いただき、ありがとうございます。市民の方が利用する各エリアの広さについては、設計段階で最適な規模を検討してまいります。また、魅力ある展示企画についても取り組んでまいります。	④事業参考
25	その他	市はカラーマネージメントを導入し効率的で世界一の市政を行ってほしい。	参考とさせていただきます。	⑤その他
26	その他	市は人口減少を前提とした計画ばかりだが、それでは都市間競争に勝てない。社会的人口を増やすための人口増加戦略部局の新たな設置が必要。	参考とさせていただきます。	⑤その他

熊本市公文書館整備基本計画（案） 新旧対照表

No.	修正前（旧）	修正後（新）	備考
1	（素案P1～P2）		公文書等管理委員会のご意見による修正
	「1.1 公文書の定義と公文書館等について」「1.2 計画策定の背景と経緯」	「 <u>1.1 計画策定の背景と経緯</u> 」 「 <u>1.2 公文書の定義と公文書館等について</u> 」の順に修正	
2	（素案P15）		公文書等管理委員会のご意見による修正
	そのため、管理棟は改修もしくは解体して新設することを本計画の4.2.3、4.2.4及び4.3で検討する。	そのため、管理棟は改修もしくは解体して新設することを本計画の4.2.3、4.2.4及び4.3で検討 <u>した</u> 。	
3	（素案P19）		パブコメ及び公文書等管理委員会のご意見による修正
		（記述の追加） <u>また、適正な管理及び運営を行うため専門職員を4名程度配置するとともに、職員が専門知識を習得するための育成に努める。</u>	
4	（素案P26）		公文書等管理委員会のご意見による修正
	改修棟と新築棟で修繕サイクルが異なるため、設備計画をそれぞれ独立して考える必要がある	改修棟と新築棟で修繕サイクルが異なるため、設備計画をそれぞれ独立して考える必要があり、 <u>改修棟の解体及び新設のための費用が発生する</u>	
	2パターンの比較の結果、パターン1・パターン2のイニシャルコストとランニングコストの合計はほぼ同等	2パターンの比較の結果、パターン1・パターン2のイニシャルコストと <u>20年間の</u> ランニングコストの合計はほぼ同等	